

- ◆サービス シャトルは、115cm以下の高さから、上方に向かって打ちます。
相手コートのレシーブエリアに入るように打ちます。
セカンドサービスはありません。

- ルール1** サービスするとき、自分のチームが
- ・ 偶数点 (0点含む) なら右サービスコート
 - ・ 奇数点なら左サービスコート からサービスします。
- ルール2** サービス側が得点したとき、続けて同じ選手がサービスします。
- ルール3** サービス側が失点したとき、相手チームにサービス権を渡します。
- ※ルール1により、自分のチームにサービス権が返ってきたとき、
前回サービスしなかった選手がサービスします。

<サービスのミス・失点>…「フォルト」

- ・ 相手のレシーブエリアにサービスが入らなかったとき
- ・ 両足が床についていない状態でサービスしたとき
- ・ サービスしようとして途中でラケットの動作を止めたとき
- ・ シャトルを床から 115cmより高い位置から打ったとき
- ・ レシーバーでない選手がレシーブしたとき

<サービスのやり直し>…「レット」

- ・ レシーバーの体勢が整っていない状態で、サービスしたとき
- ・ サービスまたはレシーブする選手の順番を間違えたとき
- ・ 間違ったサービスコートからサービスしたとき
- ・ レシーブエリアに入っていないサービスをレシーバーが誤って打ち、かつ相手コートにシャトルを返せなかったとき。
- ・ プレー中にシャトルが分解したとき。
- ・ プレー中のシャトルがネットの上ののったり、ネットを越えてからネットに引っかかったとき
- ・ その他、不測の事態でプレーが中断されたとき

- ◆レシーブ サービスされたシャトルがレシーブエリアに入っているとき、相手コートへ打ち返します。

ルール1 サーバーの対角にいる選手がレシーブします。

ルール2 レシーブ側のポジションのチェンジはありません。

<レシーブのミス・失点>

- ・インコート内にシャトルが入らなかったとき
- ・天井や壁、コート外の人や物にシャトルが当たったとき
- ・シャトルを2回以上打って、相手コートに返球したとき
- ・シャトルが選手の身体や衣服に触れたとき

◆コートチェンジ…「チェンジエンス」

第1ゲーム、第2ゲームの終了のとき、また、第3ゲームでどちらかのチームが11点とったときにコートチェンジする。

- ◆試合進行
- ①じゃんけんしてサービス権を決めます。
 - ②審判のコールで試合を開始します。
始めは、サービス権を得たチームが右コートからサービスします。
 - ③その後は、得点したチームがサービス権を持ちます。
 - ④第1ゲーム、第2ゲームでは、どちらかのチームが11点とったとき、1分間の休憩があります。
 - ⑤21点先取したチームがそのゲームを獲得します。
20点で同点になった場合は、先に2点リードするか、30点先取した方がゲームを獲得します。
 - ⑥第1ゲーム、第2ゲームを終了したとき、2分間の休憩があります。
 - ⑦次のゲームを開始するとき、チェンジエンスします。
また、前のゲームを獲得したチームがサービス権を得ます。
 - ⑧第3ゲームでは、どちらかのチームが11点とったとき1分間の休憩があり、休憩後はチェンジエンスします。
 - ⑨3ゲーム中2ゲーム先取したチームが試合の勝者です。
 - ⑩試合に制限時間はありません。